

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち
政策	2	男女共同参画社会を実現するまちにします

施策	1	男女が共同で参画できるまちにします	担当部(統括部)	市長公室
----	---	-------------------	----------	------

【実現している姿】

目標	ジェンダー(社会的性別)に基づく差別や偏見、固定的な性別役割分担意識が、より解消されています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	男女がともに責任を担い、社会のあらゆる分野に参加・参画しています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	女性に対するあらゆる暴力がなくなっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
男女平等に関する市民意識調査で「平等になっている」と回答した割合(平成13年度6.8%・平成17年度8.9%)	目標	—	—	調査実施なし	調査実施なし	※目標値は市民意識調査の実施を予定している平成27年度に設定		15.00%	調査実施なし	調査実施なし	30.0%
	実績	—	20.7%	調査実施なし	調査実施なし						
各種審議会等への女性の参画率	目標	—	—	—	30%	30%	30%	30%	30%	35.0%	35.0%
	実績	27.8%	28.1%	27.5%	28.7%	27.1%					
DV相談の件数(職員面談による相談件数)	目標	—	—	—	80件	85件	150件	160件	160件	180件	200件
	実績	42件	64件	100件	140件	117件					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎男女共同参画社会実現に向けての意識改革						
市職員がモデルとなるよう市が率先して「摂津市男女共同参画計画」の推進に取り組みます。						
平成27年度事業	◇創造的人材育成事業5,370千円(人事課) ◇男女共同参画計画推進事業536千円(人権女性政策課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	第9期男女共同参画推進研究会の成果啓発物の発行	第10期男女共同参画推進研究会研究員の任命	第10期男女共同参画推進研究会活動(2年目)	研究会活動の評価	第10期研究会の成果啓発物の発行	研究会活動の評価
取組実績	研究の成果として啓発物を作成した。					
成果	男女共同参画の視点でワークライフバランスについて理解を深め、啓発することができた。					
次年度課題	男女共同参画社会の実現のための課題の中から喫緊のテーマを策定する。					
計画	庁内のセクシュアル・ハラスメント防止体制の周知・研修の実施	庁内のセクシュアル・ハラスメント防止体制の周知・研修の実施	庁内のセクシュアル・ハラスメント防止体制の周知・研修の実施	庁内のセクシュアル・ハラスメント防止体制の周知・研修の実施	庁内のセクシュアル・ハラスメント防止体制の周知・研修の実施	庁内のセクシュアル・ハラスメント防止体制の周知・研修の実施
取組実績	新規採用職員(20名)に対し、セクシュアル・ハラスメント防止について研修を実施した。また、ハラスメントに関するアンケートの実施について検討した。					
成果	新規採用職員のセクシュアル・ハラスメントについての理解を深めることができた。					
次年度課題	相談員や啓発員をはじめ、各職員に対する研修を実施するとともに、ハラスメントに関するアンケートを行い、課題発見から更なる認識や知識の向上を図る。					

◎様々な分野への男女共同参画の促進						
様々な分野における政策・方針決定の場や、地域活動・社会活動への女性の参画、さらには会長・役員などの役職への女性の配置が促進される仕組みづくりに取り組みます。また、男性の地域・家庭生活への参加が可能となるよう環境整備に向けた啓発を促進します。						
平成27年度事業 ◇男女共同参画計画推進事業536千円・◇女性人材育成事業584千円・◇男女共同参画センター講座開催事業875千円(人権女性政策課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	新しい「審議会等への女性委員の登用指針」を策定し、従来の選出基準の見直し等を促進	「審議会等への女性委員の登用指針」に基づき、従来の選出基準の見直し等を促進	男女共同参画市民意識調査の実施	男女共同参画計画の見直し	新しい「審議会等への女性委員の登用指針」を策定し、従来の選出基準の見直し等を促進	参画率の評価
取組実績	「審議会等への女性委員の登用指針」を改正し、女性政策推進本部委員(部長級職員)に、各審議会等への女性の登用の促進を依頼した。					
成果	各種審議会等への女性の参画率は27.1%であった。					
次年度課題	委員の改選時期に合わせて、より登用促進できるように啓発を強化する必要がある。					
計画	「せつつ女性大学」の開校	「ウイズせつつかレッジ」の開校	「ウイズせつつかレッジ」の開校	参画率の評価	参画率の評価	参画率の評価
取組実績	「自分力・地域力アップ！女性が考える防災」をテーマに全10回開催した。					
成果	女性政策推進市民懇話会の公募委員に卒業生から2人参画した。					
次年度課題	他課所管の審議会等への参画を促進する必要がある。					
計画	「せつつババースクール」「男の知っ得セミナー」を実施するとともに、男性の地域・家庭生活への参加促進を目的とした新たな講座等を検討	男性の地域・家庭生活への参加促進を目的とした新たな講座等の実施	男性の地域・家庭生活への参加促進を目的とした講座等の実施	男性の地域・家庭生活への参加促進を目的とした講座等の実施	男性の地域・家庭生活への参加促進を目的とした講座等の実施	新たな手法による男性の人材育成の実施
取組実績	子育て世代の男性を対象として、ワークライフバランスや夫婦のパートナーシップなどを学ぶ講座を全5回開催した。また、シニア男性を対象に介護講座と孫育て講座をそれぞれ3回ずつ開催した。					
成果	男性育児(子育て・孫育て)は他課とも連携し周知を図ったが参加者が少なかった。男性介護講座については定員を超える応募があった。講座を通じて、男性に男女共同参画センターの存在を知っていただくきっかけとなった。					
次年度課題	子育て世代の男性の育児が一般的になった今、時代の流れとともに求められる講座が変わっているため、男性対象講座の再構築が必要。					

○男女共同参画の視点による市民活動支援							
市が主催する講座や会議などにおいて、乳幼児を持つ親が参加・参画できるよう一時預かりの実施を進めます。また、男女共同参画センターは、市の男女共同参画計画を推進する施設として市民啓発と人材育成を担うとともに、男女共同参画の視点を持つ市民団体に対して、協働による事業の実施や活動の場の提供、情報の収集・発信を積極的に進めます。							
平成27年度事業 ◇男女共同参画センター講座開催事業875千円・◇活動・交流支援事業693千円・◇男女共同参画市民協働事業142千円(人権女性政策課)							
		第5期実施計画期間				後期終了年度	
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	市主催の講座や会議において、乳幼児の一時預かりを実施する仕組みを構築	市主催の講座や会議などにおいて、乳幼児の一時預かりを実施するよう促進	市主催の講座や会議などにおいて、乳幼児の一時預かりを実施するよう促進	市主催の講座や会議などにおいて、乳幼児の一時預かりを実施するよう促進	市主催の講座や会議などにおいて、乳幼児の一時預かりを実施するよう促進	すべての主催講座や会議などにおいて、乳幼児の一時預かりを実施	
取組実績	乳幼児が参加可能なものを除き、当課におけるすべての主催講座や会議などにおいて、乳幼児の一時預かりを実施した。						
成果	男女共同参画センター実施の一時預かりにおいて152人の利用があった。市主催の会議において子どもの一時預かりを3件実施した。						
次年度課題	市主催のすべての講座や会議において、乳幼児の一時預かりを実施する仕組みをつくる必要がある。						
計画	男女共同参画の視点が得られる講座を企画・実施	男女共同参画の視点が得られる講座を企画・実施	男女共同参画の視点が得られる講座を企画・実施	男女共同参画の視点が得られる講座を企画・実施	男女共同参画の視点が得られる講座を企画・実施	男女共同参画の視点が得られる講座を企画・実施	
取組実績	男女共同参画計画に基づき、男女共同参画センターにおいて13種類の主催事業を企画・実施した。						
成果	初参加者が全参加者数の49%と約半数を占め、受講者アンケートでは「よかった」との回答が89%となった。						
次年度課題	新男女共同参画計画を実現するために、より必要性が高い事業を実施していく必要がある。						
計画	男女共同参画の視点をもつ団体に対し、男女共同参画市民企画協働事業「チャレンジ企画」「ジャンプ企画」「ふらっと企画」を募集し、活動に対する支援を実施。また、ウイズせつフェスタのセミナー企画を募集し、活動に対する支援を実施。	男女共同参画の視点をもつ団体に対し、男女共同参画市民企画協働事業「チャレンジ企画」「ジャンプ企画」「ふらっと企画」を募集し、活動に対する支援を実施	男女共同参画の視点をもつ団体に対し、男女共同参画市民企画協働事業「チャレンジ企画」「ジャンプ企画」「ふらっと企画」を募集し、活動に対する支援を実施	男女共同参画の視点をもつ団体に対し、男女共同参画市民企画協働事業「チャレンジ企画」「ジャンプ企画」「ふらっと企画」を募集し、活動に対する支援を実施	男女共同参画の視点をもつ団体に対し、男女共同参画市民企画協働事業「チャレンジ企画」「ジャンプ企画」「ふらっと企画」を募集し、活動に対する支援を実施	男女共同参画の視点をもつ団体に対し、男女共同参画市民企画協働事業「チャレンジ企画」「ジャンプ企画」「ふらっと企画」を募集し、活動に対する支援を実施	
取組実績	チャレンジ企画2件、ジャンプ企画3件、ふらっと企画10件について支援を行った。						
成果	団体のエンパワメントとPRができた。						
次年度課題	チャレンジ企画、ジャンプ企画、ふらっと企画の応募団体を増やしていく必要がある。						
計画	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施し、評価	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施し、評価	
取組実績	市民協働事業として男女共同参画推進団体2団体と男女共同参画センターとで「ハビママの楽育ひろば」を実施した。						
成果	団体の交流や学びが深まるとともに、30歳代を中心に若い層のセンター利用者が増えた。						
次年度課題	この2団体だけではなく、他の推進団体に呼び掛けて、男女共同参画の視点を持ち啓発活動ができる団体の育成を図る必要がある。						

◎女性に対するあらゆる暴力の防止

女性に対するあらゆる暴力の防止に関する学習・啓発を行います。特にDV被害については、被害者の相談・保護・自立などの支援について、関係機関との綿密な連携を図りながら防止に取り組みます。また、男女共同参画センターの相談事業の充実を図り、配偶者暴力相談支援センターとしての機能を果たせるよう取り組みます。

平成27年度事業 ◇男女共同参画センター講座開催事業875千円・◇男女共同参画計画推進事業536千円・◇女性問題相談事業2,340千円・
◇男女共同参画センター管理事業19,613千円・◇虐待等防止ネットワーク事業0円(人権女性政策課)

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	女性に対する暴力をなくす運動「パープルリボンキャンペーン」を実施	女性に対する暴力をなくす運動「パープルリボンキャンペーン」を実施	女性に対する暴力をなくす運動「パープルリボンキャンペーン」を実施	女性に対する暴力をなくす運動「パープルリボンキャンペーン」を実施	女性に対する暴力をなくす運動「パープルリボンキャンペーン」を実施	女性に対する暴力をなくす運動「パープルリボンキャンペーン」を実施
取組実績	DVに関するイベント・講座など3事業を実施した。また、第5中学校2年生に対しデートDVの啓発授業を行った。					
成果	虐待等防止ネットワーク会議の関係各課と連携し、啓発の相乗的な効果が生まれた。					
次年度課題	虐待等防止ネットワーク会議の関係各課や学校と連携し、啓発活動等の効果を上げていく必要がある。					
計画	DV防止ネットワーク会議(実務担当者会議)を中心に複合的な問題を抱えるDV被害者支援を実施	DV防止ネットワーク会議(実務担当者会議)を中心に複合的な問題を抱えるDV被害者支援を実施	DV防止ネットワーク会議を中心に複合的な問題を抱えるDV被害者支援を実施	DV防止ネットワーク会議を中心に複合的な問題を抱えるDV被害者支援を実施	DV防止ネットワーク会議を中心に複合的な問題を抱えるDV被害者支援を実施	DV防止ネットワーク会議(実務担当者会議)を中心に複合的な問題を抱えるDV被害者支援を実施
取組実績	DV防止ネットワーク会議において情報を共有した。また、複合事案が発生するごとに関係機関と実務担当者会議(ケース検討会)を実施し、具体的な支援策の検討を実施した。					
成果	関係課と情報共有を図ることができ、適切な支援につながった。					
次年度課題	DVについての理解と情報の共有化の徹底を図る必要がある。					
計画	相談員の資質向上を図るとともに、相談事業の再編を検討	いつでも相談できる体制で相談事業を実施	相談員の資質向上を図るとともに、いつでも相談できる職員体制で相談事業を実施	相談員の資質向上を図るとともに、いつでも相談できる職員体制で相談事業を実施	相談員の資質向上を図るとともに、いつでも相談できる職員体制で相談事業を実施	相談員の資質向上を図るとともに、いつでも相談できる職員体制で相談事業を実施
取組実績	相談事業について、関係機関や医療機関などにPRを実施した。また、相談員の研修派遣やケース検討会議を行った。					
成果	市民相談機関について周知することができた。また、ケースごとの細やかな対応ができた					
次年度課題	各種相談の現状をふまえ、相談事業の再編を検討する必要がある。					
計画	協働による啓発事業の実施並びに実務担当者による複合的な事案のケース検討会議等の開催	協働による啓発事業の実施並びに実務担当者による複合的な事案のケース検討会議等の開催	協働による啓発事業の実施並びに実務担当者による複合的な事案のケース検討会議等の開催	協働による啓発事業の実施並びに実務担当者による複合的な事案のケース検討会議等の開催	協働による啓発事業の実施並びに実務担当者による複合的な事案のケース検討会議等の開催	協働による啓発事業の実施並びに実務担当者による複合的な事案のケース検討会議等の開催
取組実績	「摂津市虐待等防止ネットワーク会議」による啓発パネル展を実施した。関係課の会議の統合について検討した。					
成果	当該会議の趣旨等と、女性・児童・高齢者・障害者にかかる問題について、幅広い層に周知を図ることができた。会議の統合については、現段階では難しいという結論に至った。					
次年度課題	諸問題が複雑にからむ困難事例などのケース検討会議の実施を検討する必要がある。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

女性のための相談の充実						
多様なライフスタイルに対応するため、男女共同参画センターの相談事業に夜間の枠を設け、相談の機会を拡充します。						
平成27年度事業 ◇女性問題相談事業2,340千円(人権女性政策課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	面接及び法律相談の夜間相談を実施	面接及び法律相談の夜間相談を実施	面接及び法律相談の夜間相談を実施するとともに、相談事業の評価を実施	面接及び法律相談の夜間相談を実施	面接及び法律相談の夜間相談を実施	面接及び法律相談の夜間相談を実施するとともに、相談事業の評価を実施
取組実績	面接相談を108枠、法律相談を115枠実施した。					
成果	面接相談は利用件数97件、法律相談は73件の利用があった。					
次年度課題	面接相談が込み合っている状況から、相談業務の再構築を行う必要がある。					

市民団体の交流の促進と人材の活用						
男女共同参画センターの交流室において、男女共同参画推進団体がその活動を発表することにより、団体同士の交流を深めながら互いにエンパワメントされる仕組みづくりを行い、市民の力による男女共同参画の促進を図ります。						
平成27年度事業 ◇活動・交流支援事業693千円・◇男女共同参画市民協働事業142千円(人権女性政策課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画が実施できるよう検討	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画が実施できるよう検討	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施し、評価	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施	男女共同参画センターにおいて複数団体によるコラボレーション企画講座を実施するとともに、複数の企画を実施し、評価
取組実績	市民協働事業として男女共同参画推進団体2団体と男女共同参画センターとで「ハビママの楽育ひろば」を実施した。					
成果	団体の交流や学びが深まるとともに、30歳代を中心に若い層のセンター利用者が増えた。					
次年度課題	他の推進団体に呼び掛けを行い、男女共同参画の視点を持ち啓発活動ができる団体の育成を図る必要がある。					
計画	男女共同参画推進団体の交流会を実施し、団体同士の交流や男女共同参画についての啓発を推進	男女共同参画推進団体の交流会を実施し、団体同士の交流や男女共同参画についての啓発を推進	男女共同参画推進団体の交流会を実施し、団体同士の交流や男女共同参画についての啓発を推進	男女共同参画推進団体の交流会を実施し、団体同士の交流や男女共同参画についての啓発を推進	男女共同参画推進団体の交流会を実施し、団体同士の交流や男女共同参画についての啓発を推進	男女共同参画推進団体の交流会を実施し、団体同士の交流を促進
取組実績	登録団体の交流会及びウィズせつつフェスタを実施した。					
成果	登録団体24団体が交流会、ウィズせつつフェスタの企画・活動発表により交流を深めることができた。					
次年度課題	登録団体を増やすとともに、団体のニーズにあった交流や男女共同参画についての啓発を進めていく必要がある。					